

- 新年を迎えての理事長からのご挨拶
- 「第82回日本公衆衛生学会総会」のご報告
- 「第61回日本医療・病院管理学会学術総会」のご報告
- 「第71回日本職業・災害医学会学術大会」のご報告
- 「第34回日本疫学会学術総会」のご案内
- 「第29回日本災害医学会総会・学術集会」のご案内
- 「第94回日本衛生学会学術総会」のご案内
- 事務局からのお知らせ



新年を迎えての理事長からのご挨拶



社会医学系専門医協会 理事長
今中 雄一

このたびの能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。そして被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々、社会医学系専門医、指導医、専攻医の方々に、深く敬意を表します。

2024年(令和6年)を迎え、社会医皆様の益々のご発展・ご活躍を祈念いたします。

震災下で一層顕在化してきますが、人の命・健康を支え守るには、そもそも社会環境が基盤となっています。このためには、社会医学系の活動が必須です。その上、コロナ禍を機に社会医学系の重要性は改めて強く認識されましたが、超高齢・超少子・人口減少社会、財政危機、気候変動、環境問題、自然災害、パンデミック、紛争、経済危機、格差拡大、メンタルヘルス危機、社会の複雑化など、命・健康を脅かす様々な危機も増大してきています。危機突発時のみならず、社会医学系の活動は、いうまでもなく平時から極めて重要であり、今後益々その重要性を増していくこと必至です。

社会医学系専門医協会は、専門医制度を通じ、人々の命・健康を守り健康と取り巻く環境の向上に寄与することを目指します。そして、社会医学系専門医の、制度・政策・社会での価値の向上をも図っていきます。また、実力、実績のある方々の一層のご活躍の推進、生涯学習・人材育成の推進に繋げるべく、ミドル世代向け、シニア世代向けの新たなキャリアアップのしくみを導入するなど、当専門医制度の強化を図っております。

この新しい年においても、行政、地域、職域、人材育成、研究開発、社会・環境づくりにおいて、誇り高き社会医学系専門医の皆様の皆様のご活動が、より一層推進され発展してまいりますことをお祈り申し上げます。

第 82 回日本公衆衛生学会総会のご報告



学会長 田宮 菜奈子

筑波大学ヘルスサービス開発研究センター センター長

第 82 回日本公衆衛生学会総会は、令和 5 年 10 月 31 日から 3 日間、つくば国際会議場において、「実践と研究のシナジーが織りなす保健医療介護サービスの進化と調和」をテーマに久々のオンサイト主体として開催しました。秋晴れの空の下、3500 名を超える方に会場でご参加いただくことができました。

演題・講演も 1400 を超え、57 の公募ポジウムを含む各セッションで活発な討論が行われ、「実践と研究のシナジー」がそこかしこで育まれたように感じております。

メインプログラムとしては、社会医学の在り方とヘルスサービスリサーチ、そして医療DXを意識し、特別講演を我が国の MD.MPH のフロンティアとして米国公衆衛生大学院で学び、医療の質の評価の導入、初の公衆衛生大学院を開設された福井次矢先生にお願いし、続けてシンポジウム「公衆衛生大学院の今」では、MPHの現状と今後を各大学からのご報告を基に議論しました。医療介護データ利活用で第一線でご活躍の山本隆一先生のご講演に続くデータリネージュに着目したシンポジウムでは、米国英国での現状や我が国の政策の最先端のご報告から、我が国の課題を議論しました。また、新型コロナウイルス感染症を振り返るシンポジウムやコロナ禍の保健所業務の記録映画の市民を含む上映会、そして、今こそ公衆衛生関係者と市民が音楽の力でつながろうという第 9 合唱なども行いました。

社会医学は、研究の知見が社会での実践につながり、人々に還元できてこそその学問分野であり、臨床医学を含む公衆衛生の実践と研究のシナジーが特に重要な学問です。社会医学に携わる我々が、コロナ禍での教訓を生かし、喉元すぎれば熱さ忘れることなく、今こそ、強く、共に前に進むべき時かと考えます。本学会が少しでもこうした力の推進になれればうれしく思います。各種委員をお受けくださった皆様、運営チーム、そしてご参加の皆様にご心から感謝申し上げます。



第 61 回日本医療・病院管理学会学術総会のご報告



工学院大学建築学部

筧 淳夫

(第 61 回日本医療・病院管理学会学術総会 学術総会長)

第 61 回日本医療・病院管理学会学術総会は、今年 11 月 4 日と 5 日に東京（工学院大学）で開催され、多くの参加者が集まり、成功裡に終わりました。4 年ぶりに対面で開催されたこの学術総会は、会員同士の研究、研修、交流の場として多くの新たな出会いが生まれたことでしょう。また、この学術総会は 12 月 22 日までオンデマンドで参加できるため、まだ参加していない方は、ぜひご登録と参加をご検討ください。プログラムを見ると、オンデマンド受講によって社会医学系専門医の単位認定が可能なプログラムもありますので、ご参考にしてください。

今回の学術総会を振り返ると、現在の医療提供体制が大きな変革の時期にあることが明確に感じられます。従来の慣習にとらわれた考え方では克服が難しい課題も多く、地域医療の再構築、病院の機能分化、働き方改革、建設コストの高騰など、医療サービス提供方法を根本的に見直す必要があるかもしれません。特に、現在の建設コストの急激な上昇は深刻な課題であり、これが解決策を見つける難しさを浮き彫りにしています。医療費だけでは建物の建設に充てるのが難しく、これが続けば地域での医療提供が困難になる可能性も考えられます。

このような状況下で、日本医療・病院管理学会は、社会医学系専門医と共に幅広い学際的な議論を促し、医療関係者だけでなく、より広い社会に対して新たな議論の機会を提供する役割を果たすべきだと考えています。この学術総会を通じて、学会の位置づけを再評価し、深く考える機会となりました。

第71回日本職業・災害医学会学術大会のご報告



独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院 院長
三浦 裕正

第71回日本職業・災害医学会学術大会は2023年12月9日（土）、10（日）の2日間、福岡市のアクロス福岡におきまして開催されました。本学会の長い歴史の中で、福岡市での開催は第5回以来、2度目であり、九州労災病院としての担当は第22回天児民和先生以来、実に49年ぶりということになります。

お陰様で113題の一般演題をご応募いただくと共に、指定演題につきましても、非会員の先生も含め多くの方々にご支援を賜りました。2日間の参加者数は700名を越え、皆様のお力添えに心より感謝申し上げます。

今回、学会テーマを「人生100年時代を見据えた勤労者医療」に据えました。わが国の高齢化率は29.1%と世界でも類を見ない超高齢社会に突入しており、2007年に日本で生まれた子供の半数が107歳に到達すると推計されています。ある試算によれば、100年の人生を生きるためには、人は少なくとも75才から85才まで働かなければならないとされており、人生100年時代は今後の国の最重要課題となってくると考えられます。

我々医療者としてできることはロコモ、フレイル、生活習慣病、認知症、がん等、様々な疾患の予防や治療を通じて、自立した生活と健康寿命の延伸をはかること、そして転倒、転落予防など高齢勤労者への対策も必要となってきます。あらゆる手段を講じて、高齢者の就労維持や就労復帰を支援することが人生100年時代における我々医療人の責務であろうと考えています。

このテーマに関連して、基調講演として前福岡労働局長の安達栄様に「人生100年時代、急増する高年齢労働者の行動災害の予防のために ～日本職業・災害医学会の皆様への期待～」というタイトルでお話しを頂きました。また、特別講演としまして独立行政法人労働者健康安全機構の有賀徹理事長に「人生100年時代における勤労者医療」、前産業医科大学学長の尾辻豊先生に「産業医が行う職場での総合診療：病産連携の重要性」、一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所代表理事の武藤芳照先生に「高年齢労働者の転倒・転落事故、予防の実践と啓発」をお願いしました。

その他に教育研修講演3題、シンポジウム13セッション、ランチョンセミナー5題等、多岐にわたるプログラムを展開しました。また、FC今治オーナーの岡田武史様とのトークショーでは、今治への挑戦の経緯や苦労話、新たに2024年に開校するFC今治高校里山校の学園長としての豊富など、様々な話題に関する軽妙なトークで聴衆を魅了していただきました。

土曜日の夜に中洲のON A TABLEにおいて立食形式で開催された懇親会は、80名を越える参加を得ました。軽快なジャズ演奏をバックに肉料理をつまみながら皆様が和気藹々と楽しく語り合う様子が印象的でした。

4年ぶりの現地開催に対し参加者からは異口同音に楽しい会であったという感想をいただきました。本学術集会の企画、運営にご協力を賜りました全ての方々に厚く御礼申し上げます。

学会開催のご案内

第34回日本疫学会学術総会

ホームページ <http://jea2024.umin.jp/>



会期 2024年1月31日(水) ~ 2月2日(金)

会場 びわ湖大津プリンスホテル

テーマ 疫学が創る未来社会

会長 三浦 克之

国立大学法人 滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター センター長

NCD 疫学研究センター 予防医学部門 教授 社会医学講座 公衆衛生学部門 教授

事務局 第34回日本疫学会学術総会事務局

滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL:077-548-2885 FAX:077-543-4800 E-mail:jea34@belle.shiga-med.ac.jp

連絡事務局 第34回日本疫学会学術総会連絡事務局

株式会社コンベックス

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町

TEL:03-3505-1600 FAX:03-3505-3366 E-mail:jea34@convex.co.jp

第 29 回日本災害医学会総会・学術集会

 ホームページ <https://site2.convention.co.jp/29jadm/>


JADM
 Japanese Association for Disaster Medicine
 第29回
 日本災害医学会総会
 学術集会
 The 29th Annual Meeting of Japanese
 Association for Disaster Medicine
 叡智の結集
 すべては被災者のために
 [演題募集期間]
 2023.8.30 (水) ▶ 10.4 (水)
 [会期] 2024.2.22 (木) ▶ 24 (土)
 [会場] みやこめっせ (京都市勧業館)
 [会長] 高階 謙一郎
 (京都第一赤十字病院院長特任補佐 救命救急センター・基幹災害医療センター長)
 [副会長] 池田 栄人
 (京都第一赤十字病院 院長)
 松井 道宣
 (京都府医師会 会長)
 主催事務局 | 日本赤十字社 京都第一赤十字病院
 〒605-0981 京都府京都市東山区本町 15-749
 運営事務局 | 日本コンベンションサービス株式会社 関西支社内
 〒541-0042 大阪市中央区今橋 4-4-7 京阪神淀屋橋ビル 2階
 Email: 29jadm@convention.co.jp
 URL | <https://site2.convention.co.jp/29jadm/>

会 期 2024 年 2 月 22 日(木)～24 日(土)

会 場 みやこめっせ(京都市勧業館)

テーマ 叡智の結集 —すべては被災者のために—

会 長 高階 謙一郎

(京都第一赤十字病院院長特任補佐 救命救急センター・基幹災害医療センター長)

副会長 池田 栄人 (京都第一赤十字病院 院長)

松井 道宣 (京都府医師会 会長)

主催事務局: 日本赤十字社 京都第一赤十字病院

〒605-0981 京都府京都市東山区本町 15-749

運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社 関西支社内

〒541-0042 大阪市中央区今橋 4-4-7 京阪神淀屋橋ビル 2 階

 E-mail: 29jadm@convention.co.jp

第 94 回 日本衛生学会学術総会

ホームページ <https://jsh94.net/>


第94回 The 94th Annual Meeting of the Japanese Society for Hygiene

日本衛生学会 学術総会

THE JAPANESE SOCIETY FOR HYGIENE
FOUNDED IN 1929

人が幸せになる社会の仕組みづくりを目指して

会期 2024年 3/7 Thu 9 Sat

会場 かごしま県民交流センター
〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50

大会長 堀内 正久
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
衛生学・健康増進医学

大会事務局 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
衛生学・健康増進医学
〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1
Tel: 099-275-5291
E-mail: eisei@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

運営事務局 株式会社 CSS
〒891-0117 鹿児島市西谷山 3丁目1番2号
Tel: 099-298-1511
E-mail: info@jsh94.net

高木兼寛
丹下梅子

会 期 2024年3月7日(木)～9日(土)

会 場 かごしま県民交流センター
〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50

メインテーマ 人が幸せになる社会の仕組みづくりを目指して

会 長 堀内 正久 (鹿児島大学 衛生学・健康増進医学 教授)

学会事務局 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 衛生学・健康増進医学
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘 8丁目 35番 1号

運営事務局 株式会社 CSS 内
〒891-0117 鹿児島市西谷山 3丁目 1番 2号
tel:099-298-1511 fax:099-298-1512 E-mail:info@jsh94.net

事務局からのお知らせ

【専門医・指導医更新のご提出いただきありがとうございました】

2023年11月30日をもちまして、本年度の更新申請の受付を終了いたしました。

本年度更新申請対象者で更新申請をいただいていない場合、

当会HPにて更新延長届をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご提出をお願いいたします。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/koushin/>

【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、

社会医学系専門医協会事務局まで登録内容変更届をご提出ください。

登録内容変更届のダウンロードは下記URLから

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

新年度（2024年度）年間登録料は2024年4月以降に発行・発送予定です。

お引越し・ご異動がある場合は登録情報変更をお早めに！

年間登録料領収書の発行をご希望の際は下記記載事項をご記載の上、ご自身にてご作成の上、「切手貼付の返信用封筒」を同封の上、事務局までお送りください。

押印の上、ご返送させていただきます。

【記載事項】

- ・会員様のお名前
- ・会員番号
- ・お支払いいただいた金額
- ・何年度分の年会費

※年間登録料につきましては不課税となっております。

※請求書：お送りしております払込票付請求書とは別の請求書（所定のもの、口座記載のもの、公印押印済のもの等）が必要な場合は上記内容をご記載の上、ご依頼ください。

【変更届送付先・請求書、領収書発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail：jbphsm@asas-mail.jp

FAX：03-5981-6012